デジタルカメラの進化とは一線を画す、カシオの“写真革命”

カシオのデジタルカメラ分野から、“旅”と“アート”をテーマに掲げた新製品が発表された。
「撮る、見る、記録する」というカメラ本来の性能に、「楽しむ」という新たな価値を提案。
成熟産業ともされるデジタルカメラ市場において、明確に差別化された製品をいかに開発し、
マーケットを活性化させるか。新製品にこめた想いを開発者に聞いた。

1995 年に世界で初めて液晶モニター付きデジタルカメラ『QV-10』を発表したカシオ。以来、固定概念にとらわれず、今日にいたるまでデジタルカメラを進化させてきた。

QV事業部
小野田 孝

新たな写真文化・価値を
「アートカメラ」で創造した

その精神を受け継ぎ、「撮る、見る、記録する」というカメラの基本性能に加え、「楽しむ」という価値を備えた新製品 2 機種を発表した。テーマは “ 写真革命 ”。カシオのデジタルカメラは単なるカメラに留まらず、新たな楽しみを提供する【Amazing Gear】として位置づける。

見えなかった世界を写すハイスピードカメラの新ステージ

企画開発段階から『EX-ZR10』に携わってきた小野田は、「『EX-ZR10』はカメラであってカメラでない、突き抜けた存在」と言い切る。

「連写合成と画像処理によって、絵画なのか写真なのかわからない、“新しい画像 ” を生み出すことに成功しました。これもひとえに、我々が現時点で理想とする、最高のエンジンを開発できたのが大きいですね」

白飛び、黒つぶれを抑え、明暗の差が激しい部分まで鮮明な写真を撮る機能ならば、これまでのHDR（※）機能の強化に過ぎない。

今回『EX-ZR10』に搭載されたHDR アート機能は、1 秒間に 40 枚の速度で露出が異なる複数の画像を撮影し、撮影された画像群を一枚に合成、新たな写真表現を創り出すこ

※High Dynamic Range　通常よりも幅広いダイナミックレンジを表現するための撮影技法の一種

通常の撮影

HDR

芸術的な写真が撮れるHDR技術とは

露出の異なる連写画像を合成し、1枚の画像に収めるのがHDR（High Dynamic Range）技術。白飛びや黒つぶれを抑えて、鮮明な写真を撮影できる。さらに、このHDR技術を駆使して、芸術的な写真を創り出す機能がHDRアートだ。

HDRアート

とに成功した。

「小型化、省電力、耐久性の追求とともに、起動、レスポンス、連写、フォーカスなど、カシオはあらゆる部分での高速化を目指してきました。その結果誕生した『EXILIM エンジン HS』は、高速画像処理と高速撮影テクノロジーの融合体です。『EX-ZR10』の特長であるHDRアート機能や驚異的な撮影間隔の短さは、こうして生み出されました」

カシオの強みは、プロダクトの用途提案が豊富かつ的確だという点にある。「良質な製品を生み出し、人々の豊かな生活に貢献するため、一人ひとりの使用シーンを開発段階から想定している」と語る小野田の視線は、常にエンドユーザーに向けられている。

旅のスタイルの変化が新たな価値創造につながる

「予定を立てる、現地の情報を集めるなど、旅行は出発前から始まっています。従来はそこにカメラが入りこむ余地はありませんでした。写真を撮るための媒体としてしか、認識されていませんでしたからね」

柳が手がけたハイブリッドGPSシステムを搭載したデジタルカメラ『EX-H20G』には、旅行中の想い出を記録するだけでなく、旅行前や旅行後にも旅を楽しめる機能が搭載されている。

たとえば旅行前は、本体に内蔵した地図と景勝地情報を見ながら旅行の計画を立てる。旅行中は写真を撮るだけでなく、現在地や目的地、周辺のオススメ撮影スポットの確認、移動軌跡情報を見ながらの行動が可能なので便利で楽しいだけでなく安心だ。旅行後は撮影した画像をPCソフトにとりこみ、PicasaやGoogle Earthなどを用いて地図上に旅の記録を再現するなど、新しい旅の楽しみ方を提供する。

「ユーザーの声からデジタルカメラの購入理由を調べると、『旅行用』というキーワードは常に上位に挙がります。使用状況が明確であればあるほど、ユーザーはその製品に対し

世界の主要150都市の地図がカメラに

ハイブリッドGPSを搭載した『EX-H20G』が、旅のスタイルを劇的に変える。旅行前（景勝地チェック）、旅行中（撮影、地図活用）、旅行後（地図情報と連動した画像アップ）の各ステージで楽しむ、旅のパートナーだ。

現在位置と移動軌跡を表示

て商品価値を見出します。今回の『EX-H20G』では、パソコンに接続しないとわからない価値ではなく、出発前から出発後まで、旅をトータルで楽しくする価値の創造を目指しました」

単純に旅を記録するカメラではない。『EX-H20G』はまさに手のひらに乗る、旅のパートナーと呼べる。

カシオのものづくりは ユーザーの期待を超える

“アート”や“旅”など、各モデルのインパクトの強さに隠れがちだが、光学ズームレンズや高画素クリア液晶などの基本スペックは『EX-ZR10』『EX-H20G』のいずれも前モデルから比べて格段に進化している。

従来からの写真の楽しみ方に独自のデジタル技術を付加し利便性やカメラを用いた可能性をユーザーに提案する。それがカシオの使命なのだ。

ユーザーの支持を得る製品とは、機能や用途、製品の完成度が“ユーザーの期待を超える”ことにある。「カシオのデジタルカメラは、もはやフィルムカメラの進化版ではない」と２人が口をそろえるのは、カシオ独自の発想がテクノロジーを進化させ、新たな価値を創出することへの自信のあらわれだ。

カシオは EXILIM シリーズを、常に新しい驚きと感動を生み出す【Amazing Gear】と位置づけ、“写真革命”を進めていく。

新たな旅の楽しみ方を創造
頼れるパートナー「旅カメラ」

QV事業部
柳 和典